



同窓会報

NO.10

平成25年
8月1日発行

岩手県立一関第二高等学校同窓会

(旧一関高女・旧市立女子高・旧一関二高・旧一関農高)

〒021-0041 岩手県一関市赤荻字野中23番地1 一関二高同窓会事務局 印刷所 コンカツ印刷(有)
TEL. 0191-25-2242 FAX. 0191-25-5432 (職員室) URL. <http://sekinidosokai.com/>

フェンシング

東京女子体育大学 佐藤 葵
(H24年3月卒業)

私は今、東京女子体育大学のフェンシング部に所属しています。大学に入学してからの1年間は本当に忙しくて、大学からサークルを本格的に始めた私は、毎日とにかく必死に練習してきました。指導者や環境に恵まれ、国内大会で少しずつ成績が残るようになり、日本代表として国際



大会へ出場させていただけるようになりました。アジアジュニア選手権では、団体3位と初めてのメダルを獲得することができました。しかし、国際大会では悔しい気持ちで帰国したことしかありません。海外選手と試合をするときは、本当に自分の弱さが際立って見えてきます。圧倒的な差を感じさせられ、時々、もうやりたくない挫折するときもあります。そんな時は、いつも二高のことを思い出します。フェンシングを今でも楽しいと思えるのは、一関二高でフェンシングを始めたからだと思います。大事なことは、技術ではなく気持ちだと教わりました。何度も立ち直ることができたのは、二高の存在があったからだと思います。

私はフェンシングが好きです。



佐藤葵さん 右から3番目

今、フェンシングを一生懸命でできることにとても感謝しています。その気持ちは高校の頃から変わりません。両親をはじめ、先生、先輩後輩、同期、コーチ、たくさんの方々に支えられてきました。この出会いに心から感謝しています。今、私にできることは、練習することです。これまでの悔しくて辛かった経験も、いつか続けてきて良かったと喜べるように、更に頑張っていきますので、応援よろしくお願いします。

本部・支部役員一覧

役職名	氏名	卒業	役職名	氏名	卒業
会長	槻山 隆	農高S45卒	仙台支部長	今年度支部総会により決定	
副会長	鈴木 信子	二高S42卒	仙台支部事務局長	伊藤 善雄	二高S42卒
	千葉 弘毅	二高S45卒	盛岡支部長	相原 栄司	二高S35卒
	伊藤 晋	二高S54卒	盛岡支部事務局長	阿部 俊雄	二高S42卒
	石川 聖浩	農高S60卒	関東支部長	吉廣 克之	二高S34卒
監事	阿部 元男	二高S42卒	関東支部事務局長	曾部 篤治	二高S44卒
	木村 孝男	農高S44卒	千厩支部長	熊谷 清子	高女S20卒
	佐藤 裕一	二高S53卒	千厩支部事務局長	永沢 孝子	高女S24卒



ご 挨拶

同窓会長 梶 山 隆

同窓会員の皆様には益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。

本年度の同窓会総会を6月29日に開催し、事業報告及び事業計画、決算報告及び予算について承認を受けました。今年度は、在校生の部活動助成費について全国大会出場だけではなく、東北大会への出場に対しても助成することで承認を得ました。大会出場による経費にいくらかでも手助けになればと考えております。また、毎年、関東・仙台・盛岡の各支部総会を活発化させる上でも、多くの方々の出席を促す事につながる様支部補助費を昨年より増額しております。新会員の参加も昨年は多くありこういう機会を利用し

て同窓会活動の活発化に結びつけば幸いと考えております。

今まで総会では旧二高の同窓生の参加が多く旧農高の同窓生の参加者が少ない状態でありましたが、今年度は農高の同窓生も多く集まり、これからもこのような総会が続く事を望んでおります。

今年度の事業としまして、同窓会名簿の更新を計画実施する事と致しました。前回発行から5年目となり、平成26年4月発行を予定しております。同窓会活動を継続発展させて行く上でも大切な事と考えておりますので、ご協力をよろしくお願い致します。



鈴木勝二郎先生との縁に思う

校 長 佐々木 啓

正門を入ると、初代校長である鈴木勝二郎先生の胸像があります。先生についてご存じとは思いますが、本校が明治40年に郡立西磐井女子職業学校として創立された際、請われて39歳の若さで校長に就任し、県南の女子教育振興に尽力された方です。

この胸像を見たとき、懐かしさを覚えました。

かつて私が勤務した杜陵高校にも同じ胸像があります。先生は本校離任後、県立図書館長時代に働く若者への学習の場を提供し、旧盛岡夜間中学初代専任校長も務めました。そのことから、定時制教育への貢献に感謝し、教え子たちが建立したものです。

実は、私の父は盛岡夜間中学校の卒業生で、教室に60人程が学び、四畳半の部屋に3人が生活してリング箱で勉強した話などを聞いたことがあります。戦争もあり苦労したが大事な思い出のようでした。戦後、父は小学校代用教員から教員生活を始め、私も何とか教員の道に進むことができました。そして現在の私があるのも、鈴木勝二郎先生からの縁が縁をよ

んだおかげと感謝しています。

本校に対する地域の評価は高いと聞いていましたが、この地にきて知り合った人たちから『二高ブランド』や『憧れの二高』という言葉さえ耳にしました。生徒たちの普段の生活態度、進路や部活動の実績もありますが、二高同窓会が一関地区最大の会員数を誇り、沿革に示される幅広い分野で活躍している卒業生の皆さまのおかげだと思っています。

生徒たちは、家族を含めた一関という地域に育てられてきたと同時に、一関を支える同窓生に育てられてきたのです。戦後民主主義では『個』の自立が強く言われますが、『袖振り合うも他生の縁』という言葉もあるように、ささやかな縁でも人と人との絆は大事です。生徒たちにも次世代を育てる気持ちを忘れないでほしいと願っています。

今後とも、本校教育活動に対し同窓会の皆さまのご支援をよろしくお願い申し上げます。

平成25年度総会・懇親会

平成25年度の総会並びに懇親会は、6月29日（土）にホテルサンルート一関を会場として開催されました。総会のアトラクションは本校在学生の音楽部による演奏が披露され、校歌をはじめとして、数曲の演奏があり参加者（74名）全員が生徒の歌声に魅了されました。

総会に先立ち、3.11東日本大震災の被災者並びに本会員の物故者に黙祷が捧げられました。槻山隆会長、学校長のあいさつ後、議長選出においては慣例により本年の当番幹事より千葉東さん（昭和51年卒）と佐々木正明さん（昭和61年卒）のお二人により議事進行が行われました。議案は概ね事務局提案の通り承認されましたが、平成24年度事業経過報告において盛岡支部からは支部総会開催にあたり多くの新卒者の参加を促したい等、活発な意見も頂きました。また、平成25年度事業計画について事務局より同窓会名簿の更新については、通例の周年行事毎の更新を改め、3.11以降の影響も鑑みて更新時期の間隔を狭め行いたい旨の報告が提出され満場一致で承認されました。平成25年度の予算案においては、部活動助成金の運用にあた

り、在学生の各種部活動における活躍の幅を広げてもらうための案が提出され賛成多数で承認されました。

懇親会は、当番幹事長の佐藤馨さん（昭和51年卒）副幹事長の今野弘昭さん（昭和51年卒）菅野満博さん（昭和61年卒）をはじめ、来賓の皆様、役員や会員を合わせて72名と、多数の参加で行われました。余興では、市内で多くの慰問を行うなど活発に活動されている「菅原一座」による民謡と三味線、二高昭和51年卒の皆さんによるAKB48の曲に合わせたダンスなど、大いに盛り上げていただきました。同会場において開催された二高昭和61年卒の同期会も本会以上に盛り上がったことと思います。本年幹事を務めていただきました皆様の活躍に感謝申し上げます。

来年度の総会・懇親会は、昭和52年・62年3月卒業の皆様が当番幹事となります。これに伴い、本年度当番幹事の皆様と、来年度当番幹事の皆様の引継ぎ会を9月中旬頃に開催予定です。ご案内をいたしますので、多数ご参加いただきますよう併せてご案内申し上げます。



菅原一座による余興



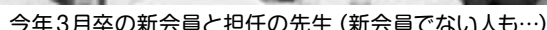
音楽部によるアトラクション



議長団



活発な質疑応答もありました



「今年もあえましたね」「〇十年ぶり」の顔、「いつもお顔は拝見していたのに同窓生だったのね」と縁は異なるものの味なもの感動いっぱいのお集まりでした。

今年の当番幹事は昭和51年、61年卒業の皆さん。盛岡支部から2名と3年3組の担任の先生、新会員の皆さん10名に出席していただき年齢をグンと若返らせてくれました。懇親会は、菅原一座の皆さんによる民謡三昧。民謡を聞くと手拍子が自然と出て、会場が一つになりアンコールにもこたえていただきました。

最後に51年卒の皆さんの若さあふれる元気な踊り。AKB48の曲にあわせて元気なパワーをいっぱいもらいました。

「会いたかった～ 会いたかった～ イエイ！ 君に～」

《写真を見るとわかるでしょ…楽しさが。来年はあなたも参加でしょう》

またお会いすることを楽しみにしています。幹事さんごくろうさまでした。

古希記念同窓会 NIK038会 盛会裏に終える

7月1日(月)午後5時より、いつくし園さんを会場に「NIKO38会」を開催致しました。還暦以来の同窓会でしたが、遠近各地から予想を超える73名の参加で、中には50年ぶりの参加もありました。

記念写真撮影の後、祝舞・最遠参加者の乾杯音頭で宴が進行し、高校の思い出話に集中し、特別にお借りした大応援旗を正面に、応援団のリードでの校歌斉唱は感動場面でした。

いつしか「あなたが主演」のスローガンの集いは、「人生は邂逅なり」（高校3年の現国）が蘇った瞬間でした。翌朝には皆満面の笑顔で「元気でまた会うべし」と生きる喜びを共感し、古希の年のつかの間の

懐かしくも新鮮なひと時でした。

最後になりましたが、校長先生、同窓会担当の佐藤先生にご協力をいただきお世話になりました。有難うございました。

〈実行委員長 北 畠 淨 春〉



二高51年同期会

昭和51年3月卒 佐藤 高 広

昭和51年普通科卒業生の同期会が10年ぶりに参加者36名で豊隆会館を会場に再会をしました。参加者それぞれ昔話して盛り上がり、その後の2次会は男子のみで市内の某スナックに消えていきました。



農高51年同期会

昭和51年3月卒 山田 昭彦

過日6月29日(土) ホテルサンルート一関を会場に、平成25年度岩手県立一関第二高等学校同窓会総会及び同窓会懇親会が開催されました。

当日を迎えるに当たり、同窓会事務局を中心とした役員各位と昭和51年3月卒、昭和61年3月卒の当番幹事の皆様のご協力により無事に執り行われました事、心より感謝申し上げます。

総会では、同窓会名簿の作成方法などに関する質問やご意見を頂いておりましたが、平成25年度事業計画と予算書について承認を受けたところでありました。事業計画では、同窓会名簿の更新も実施されることとなりましたので、今後会員の住所等調査も確認されることとなると思います。ご協力をお願いします。

同期会では、全体の人数から考えれば予想以上に参加者が少なかったことに、驚きの気持ちと残念な気持ちと反省であります。どこに要因があるのでしょうか。一つ考えられる要因と思われることに「連絡!」が、卒業後の時間経過とともに少なくなっていたことかもしれません。また、趣旨が伝わらないところもあったのでしょうか。

しかし、それでも参加頂いた方々には大きな感謝の気持ちでいっぱいです。同期会では、当時の講師の

先生もいるなど、思わずちょっと驚きながら、集まったみんなと交流できました。一つ残念だったのは、準備も手伝ってくれた千葉君が仕事の都合で総会の途中で退席せざるを得なくなり同期会に参加できなかった事。

同期会は、別会場に移り延長戦に突入し、現状のことや当時のこと或いは参加できなかった方々の今は…など、話題に尽きることなく更に盛り上がり、楽しい一日となりました。同級会もしばらく行っていないので、今後企画するなどしたいと思います。

終わりに、同窓生、同期会の皆様の健康を祈りますと共に、一関二高の益々の発展をお祈りいたします。



二高61年同期会

昭和61年3月卒 牟 岐 茂里雄

いつまでも変わらずに

一関第二高等学校音楽部の透き通る歌声で始まった同窓会総会でした。会場に穏やかな雰囲気が広がり、同窓生一人ひとりの心の中に、一関二高での活動の思い出が思い出されていたのではと思います。

総会では、できるだけ多くの年代の同窓生が集える会にしていきたいという思いが感じられる会でした。

同期会では、4名の恩師の先生方がご臨席してください、当時を懐かしく、楽しく語り合う会となりました。卒業アルバムを手にしながら、何十年と月日は過ぎましたが先生方が当時の事を懐かしく語ってくださる姿に、まだ覚えてくださっているという嬉しさと感動に胸が熱くなりました。私たち同期生も思い出を語り合ううちに当時の時代に戻っていることを感じました。恩師の先生方、同期生のみんなと遅くまで語り合った時間は、と



でも大切なひと時だったと思います。一人ひとりの心の中に温かな風が吹いたような気がします。

今回、同窓会総会・懇親会、そして同期会に向けて準備から少しですが協力させていただきました。そこで分かったことは、この会を開催・運営するために献身的なスタッフ・役員の皆様のお陰であることが分かりました。本当にありがとうございました。

卒業を期にそれぞれの道に進んだ私たちですが、またこうして集える場を準備していただいた、関係者の皆様に深く感謝いたします。また、集える時の為に、皆さまお体に気を付けて。

農高61年同期会

昭和61年3月卒 桂 田 千枝子



H25. 6. 29(土)の同期会のため、クラスの同窓会役員、市内在住の方で数回集まり準備を進めてきました。

準備でも久々に顔を合わせ、話が盛り上がり当日が待ち遠しく感じられました。

当日は、ヴェルパルクを会場とし、18:00スタート。生活科の担任だった高橋かほる先生を迎え、18歳当時に戻り、昔話に花が咲き暴露話もたくさん飛び出

し、笑い声の中、アッと言う間の二時間でした。男性も女性も見かけも変わらず、おのおのを認識することができました。みんな素敵に歳を重ね、仕事も中堅として責任を持ち、リーダーとして輝いていると感じました。

今回同期会を開催出来たことに感謝致します。また、次回元気に顔を合わせる事ができる様に願っております。たくさん参加頂きありがとうございました。

第13回(平成24年度) 関東支部総会&懇親会開催!

支部長 吉 廣 克 之

(昭和34年3月土木卒)

平成24年度関東支部の総会が9月29日(土)大手町サンケイプラザにて開催されました。総会の始めに平成23年3月11日に東北地方を襲った、東日本大震災により亡くなられた方々に、黙祷を捧げご冥福をお祈りしました。会は、流暢な曾部事務局長の司会に始まり、今回も皆様方のご協力により83名の出席を戴きました。来賓として本部からは、槻山新会長並びに2名の副会長、学校からは咲山学校長、事務局・卒業生担任の先生方のご出席を戴き感謝しております。また、平成24年3月に卒業された新同窓生7名の参加もあり、今後も新卒同窓生のご参加を期待しております。会は大野支部長の挨拶に続き、槻山会長から同窓会の状況を、咲山学校長からは、教育方針や進学、就職状況についての報告がありました。在校生の活躍も目ざましいものがあり、8月に行われた高校総体では、山岸顕志朗君がフェンシング男子サーブルで堂々の2位を勝ち取り、ちょっと早いかもしれませんが、リオのオリンピックに出るかも?期待しましよ

う。続いて議事に入り役員改選があり、支部長に吉廣克之(34年土木卒)が選任され新体制が発足しました。なお、大野前支部長におかれましては顧問として引き続きご指導お願い致します。3年間大変ご苦勞様でした。議案の最後に次回(平成25年度)の開催について、満場一致でご承認戴き総会は無事終了しました。その後記念写真撮影のあと、懇親会に入り盛り沢山の料理に舌づつみをうち、お飲み物も飲み放題ということで一気に盛り上がりました。会場は笑い声と笑顔に包まれ、楽しいひと時を過ごされたと思います。

一息ついたところで恩師の及川(現在:池田)澄先生からご挨拶を戴き先生も懐かしそうに学校時代のお話しをされておりました。今年も余興で金子先輩の和踊りと、松川先輩のフラメンコ舞踊が披露され大きな拍手が送られておりました。好例の抽選会では故郷のお米や特産品が景品に出され好評でした。あっという間の3時間が過ぎ最後に、須川音頭で輪になり踊り、校歌斉唱で閉会となりました。同窓会の良さ、それは幾つになっても忘れることが出来ない母校に対する感謝の気持ち、そして故郷で過ごした思い出等、共通のお話のできる癒しの場ではないでしょうか。会員の皆様、是非来年もご出席下さい、そして出来ることなら一人でも多くの同窓生にお誘いのお声をかけて下さい。



今年度の総会のご案内

関東支部 総会・懇親会

- ◎日時：平成25年10月5日(土)
13:00～(受付12:30～)
- ◎会場：大手町サンケイプラザ3階
(東京サンケイビル内)
千代田区大手町1-7-2
TEL 03-3273-2258
- ◎会費：7,000円(当日会場にて承ります)
※平成24・25年3月卒の方は会費無料です。
- ◎メ切：9月10日(火)まで
- ◎お問い合わせ・その他
042-923-5496 (TEL/FAX)
関東支部事務局長 曾部 篤治 (S44普卒)

平成24年度盛岡支部総会開催について

支部事務局 門 田 勝 利

(昭和35年3月農業卒)

24年度の盛岡支部同窓会は、9月29日に盛岡市、繋ぎの「ホテル紫苑」に於いて開催されました。

参加者の増加を願い「盛岡市郊外の温泉地」を決めましたが、参加者は24名と前年より1名増に止まり、今後より多くの参加者をいかにして募るかが課題となりました。

総会に入る前に、全員で東日本大震災により亡くなられた方々に対し、黙祷を捧げました。総会では、盛岡支部長の「総会への参加者は高齢化が進み若い人の参加が少ない、今日より若い日はない、今日を一番若い日としてチャレンジしたい」との挨拶に始まり、次に本部同窓会千葉副会長からは、本日の総会が関東支部とかけ合ったため会長と校長が関東支部に出席したこと・同窓会の最近の様子・役員が改選し若返ったこと等の紹介後に、二高卒だという誇りを持つ

て日々の活動を通じて、同窓会員に声掛けをし、二高の応援をして戴きたい。盛岡支部がもう少し参加者が多くなるように努力していただきたいとの要望が有りました。

さらに小野寺副校長から、昨年度の進学、就職状況、クラブ活動の状況、殊にフェンシングでは、男子サーブルで山岸君がインターハイで2位となり、前年度エペ2位の千葉春菜さんに続く快挙を成し遂げてくれた旨紹介されました。また二高に赴任し半年になるが校風は穏やかな感じがすると感想を述べておられました。

議事に入り、1年間の活動報告・新年度の事業計画予算等すべて滞りなく承認されました。懇親会は、カラオケや相原支部長の踊り“岸壁の母”の飛び入りには拍手喝采大いに盛り上がりしました。最後は全員で校歌を合唱し終了しました。



今年度の総会のご案内

盛岡支部 総会・懇親会

- ◎日時：平成25年10月19日(土)
12:00～(受付11:30～)
- ◎会場：エスポワールいわて
盛岡市中央通1-1-38
TEL 019-623-6251
- ◎会費：4,000円(当日会場にて承ります)
※平成24・25年3月卒の方は会費無料です。
- ◎お問い合わせ・その他
TEL 019-635-1592
盛岡支部事務局長 阿部俊雄 (S42普卒)

仙台支部総会・懇親会開催

支部事務局 菅 原 盛 喜

(昭和43年3月土木卒)

震災復興1年半余、津波被害地域は未だ先が見えず、幾多の地域に避難仮設住宅があり、その戸数は一向に減る兆しがありません。私が今働いている社屋、車が全て流れ出し、社員1名不明という惨劇の事実、でも仮設住宅から働きに来ている作業員や市民は意外と明るく、落ち着きを取り戻してきた昨今。

縁り「OBの絆」を深めるべく平成24年度仙台支部総会・懇親会を10月26日にホテルモントレ仙台に於いて開催することが出来ました。多くの方々の参加を願いつつ、平成24年卒業生を含め同窓会本部から槻山会長、鈴木副会長、学校からは咲山校長先生はじめ諸先生の方々の出席を賜り、総勢35名の会となりました。

諸般の事情により参加できなかった方から寄せられたコメントをまとめ「近況報告」として参加者の皆様に配布をいたしました。また、菅原仙台支部長も病気療養中で出席できませんでした。



出席者の半数以上が仙台在住の若い卒業生の参加で盛り上がりました

今年も夢多き新卒の若人等17名の参加があり、同窓会の中に高齢者が迷い込んだ感じの雰囲気でしたが、すぐに打ち解けフレッシュな会となりました。

総会においては、同窓会槻山会長より活動状況のお話を受け、咲山校長先生からは母校の状況を聞き活躍ぶりを誇りに思いました。

懇親会の始まる頃には、老若男女皆平等とばかり曲がる腰をそりかえしこまめにテーブルを回る人等が出始めたころアトラクションの始まり、お馴染みマジックシンヤ氏のステージが始まると皆テーブルにつき「一関」の言葉が出ると30分の予定が1時間に…種明かしを含め全テーブルを回るというサービスぶりにすっかりご満悦、手品の持ち帰りが出来ました。

最後に39年卒佐々木応援団長の力強い指揮のもと故郷に届けとばかりの校歌を斉唱し、盛況の内に散会となりました。

震災復興は険しく続きます。〈二高OB諸氏絆を強く頑張ろう！〉

永年仙台支部長としてご尽力いただいた菅原虎男氏が24年11月御逝去されました。謹んでお悔み申し上げますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。

今年度の総会のご案内

仙台支部 総会・懇親会

◎日時：平成25年10月18日(金)
18:30～(受付18:00～)

◎会場：ホテルモントレ仙台
仙台市青葉区中央4-1-8
TEL 022-265-7110

◎会費：6,000円(当日会場にて承ります)

※平成24・25年3月卒の方は会費無料です。

◎お問い合わせ・その他

仙台支部副支部長 猪股 恭 四 (S48普卒)
TEL 022-358-7628

仙台支部事務局長 伊藤 善 雄 (S42普卒)
TEL 022-358-7628

同窓会入会式の様子



ホレホレ

のうじょう ほのぼ農場



5月2日にヒツジの毛刈り実習、6月7日に水田へのアイガモ放鳥実習が共に清水農場にて行われました。

マスコミ等で報道されましたので既にご存じの方もおられることと思いますが、当日は近隣の保育園児も来校し生徒と一緒に実習を体験しました。園児達からは『カモさんががんばってね！大きくなってね！』の声が上がり終始和やかな雰囲気の中での実習でした。

これから頑張って水田をパトロールするカモ達、小さなカモたちを応援する園児達、そんな園児達の手をとる生徒達、視線は違えどその先にある命の健やかに成長することを願う気持ちは変わらないと感じました。また、その姿を見ていた我々は、生徒等が抱いたものと同じ願いを視線の先に送るとともに、大人としての責務をあらためて実感した瞬間でした。

卒業生の進路 (合格者数)

平成25年3月31日現在

平成25年3月 卒業生進路別合格者(延べ人数)

進 学	国公立大学	私立大学	国公立短期大学
	24	91	9
就 職	私立短期大学	看護・医療系専門学校	専門学校
	24	36	63
就 職	公務員	一般企業	福祉関係
	8	36	8

《進学》

〔国公立大学〕

北見工業大学(2)、室蘭工業大学(1)、岩手大学(6)、秋田大学(2)、埼玉大学(1)、釧路公立大学(2)、青森県立保健大学(1)、岩手県立大学(6)、秋田県立大学(1)、千葉県立保健医療大学(1)、都留文科大学(1)

〔私立大学〕

石巻専修大学(5)、いわき明星大学(1)、岩手医科大学(1)、金沢工業大学(1)、恵泉女学園大学(1)、関東学院大学(2)、岐阜経済大学(2)、工学院大学(1)、国士舘大学(1)、尚絅学院大学(7)、上武大学(1)、仙台白百合女子大学(1)、仙台大学(1)、大東文化大学(4)、つくば国際大学(1)、帝京科学大学(1)、帝京平成大学(2)、東海大学(1)、東京国際大学(1)、東北学院大学(27)、東北女子大学(1)、東北生活文化大学(1)、東北福祉大学(9)、東北文化学園大学(1)、東北文教大学(1)、獨協大学(1)、日本医療科学大学(1)、白鷗大学(1)、八戸工業大学(1)、文京学院大学(1)、北海道情報大学(1)、宮城学院女子大学(7)、立正大学(1)、和洋女子大学(1)、東京理科大学(1)

〔国公立短期大学〕

岩手県立大学宮古短期大学部(2)、大月短期大学(4)、三重短期大学(1)、山形県立米沢女子短期大学(2)

〔私立短期大学〕

修紅短期大学(8)、昭和音楽大学短期大学部(1)、聖和学園短期大学(3)、洗足こども短期大学(1)、仙台青葉学院短期大学(2)、帝京大学短期大学(3)、東京農業大学短期大学部(1)、東北生活文化大学短期大学部(2)、盛岡大学短期大学部(3)

〔看護・医療系専門学校〕

岩手県立一関高等看護学院(5)、花巻高等看護専門学校(4)、水沢学苑看護専門学校(5)、岩手看護高等専修学校(3)、石巻赤十字看護専門学校(1)、気仙沼市立病院附属看護専門学校(1)、仙台医療センター附属看護助産学校(1)、仙台医療福祉専門学校(1)、八戸看護専門学校(1)、亀田医療技術専門学校(1)、帝京高等看護学院(1)、横浜市医師会保士ヶ谷看護専門学校(1)、東京都立荏原看護専門学校(1)、神奈川県立衛生看護専門学校(1)、小田原高等看護専門学校(1)、東北文化学園専門学校(2)、盛岡市医師会附属盛岡准看護学院(2)、一関市医師会附属一関准看護高等専修学校(3)、気仙沼市医師会附属看護学校(1)

〔専門学校〕

SENDAI中央理容美容学校(2)、アミューズメントメディア総合学院(1)、岩手県立産業技術短期大学校(6)、岩手県立農業大学校(2)、ヴィーナスアカデミー(1)、上野法律ビジネス専門学校(2)、国際動物専門学校(1)、国際マルチビジネス専門学校(2)、尚美ミュージックカレッジ専門学校(1)、専修大学北上福祉教育専門学校(1)、仙台YMCA国際ホテル専門学校(1)、仙台医療秘書福祉専門学校(3)、仙台医療福祉専門学校(6)、仙台大原簿記情報公務員専門学校(1)、仙台こども専門学校(1)、仙台コミュニケーションアート専門学校(2)、仙台総合ペット専門学校(1)、専門学校トヨタ名古屋自動車大学校(1)、専門学校盛岡カレッジオブビジネス(1)、中央工学校(1)、東京IT会計専門学校仙台校(2)、東京法律専門学校(2)、東北動物看護学院(1)、東北文化学園専門学校(1)、東北保健医療専門学校(1)、ドレメファッション芸術専門学校(1)、日本工学院専門学校(1)、日本工学院八王子専門学校(1)、文化服装学院(1)、宮城調理製菓専門学校(1)、盛岡医療福祉専門学校(2)、盛岡カレッジオブビジネス(1)、盛岡社会福祉専門学校(2)、盛岡情報ビジネス専門学校(1)、盛岡調理師専門学校(6)、盛岡ペットワールド専門学校(1)、養賢ゼミナール(1)

《就職》

〔公務員〕

岩手県警(1)、自衛隊(7)

〔一般企業〕

株式会社斎藤松月堂(1)、株式会社ヤマト(1)、三光化成株式会社(1)、一関信用金庫(1)、株式会社大昌電子岩手工場(1)、株式会社貴一関工場(1)、日本端子株式会社花泉工場(1)、株式会社丸江(1)、株式会社神文ストア(1)、株式会社トヨタレンタリース(1)、岩手南農業協同組合(1)、岩手庄子運送株式会社(1)、桃の湯株式会社(3)、小岩歯科クリニック(1)、有限会社千葉恵製菓(1)、株式会社佐々木組(1)、株式会社フジテック(1)、南部鉄工建設有限会社(1)、一関商工会議所(1)、クローバー藤ハウスクリーニング(1)、株式会社ホテルアンドリゾート(1)、株式会社ケーワイコーポレーション(1)、盛岡ターミナルビル株式会社(1)、アイシン東北株式会社(1)、四季彩の宿ふる里(1)、鎌田段ボール工業株式会社(1)、東日本旅客鉄道株式会社(1)、ブリヂストンタイヤ岩手販売株式会社(1)、株式会社瑞光 四季亭(1)、株式会社浅間(1)、株式会社トップス(1)、株式会社メディカルさくら(1)、株式会社やまや(1)、小田急電鉄株式会社(1)

〔福祉関係〕

社会福祉法人幸得会(1)、医療法人社団仁愛会(1)、社会福祉法人岩手福寿会(1)、社会福祉法人つつじ会(1)、社会福祉法人協和会(1)、社会福祉法人あそか会本部事務局(1)、社会福祉法人安心会(1)、社会福祉法人聖明福祉協会(1)

同窓会名簿に関するお知らせ

現在、本校同窓会員の皆様に向け、住所等の確認調査を行っております。つきましては、調査ハガキ等の返信にご協力ください。

なお、住所等のデータ管理は、株式会社サルト（平成20年版名簿作成の会社）で行っておりますことをご了承ください。

■名簿に関するお問い合わせ

フリーダイヤル 0120-981-957

受付 No 140402

受付時間 9時30分～16時

（土曜・日曜・祝日を除く）

平成25年度一関二高同窓会年間行事計画

平成25年

4月 6日(土)	入学式
9日(火)	同窓会会計監査(本校)
24日(水)	同窓会第1回常任理事会(本校)
5月10日(金)	同窓会総会・懇親会 第2回当番幹事打ち合わせ会(山目公民館)
15日(水)	開校記念日
28日(火)	同窓会理事会(本校)
30日(木)	同窓会総会・懇親会 第3回当番幹事打ち合わせ会(山目公民館)
6月19日(水)	同窓会総会・懇親会 第4回当番幹事打ち合わせ会(山目公民館)
29日(土)	同窓会総会・懇親会 (ホテルサンルート一関) 当番幹事 昭和51年・61年3月卒業生
8月上旬	同窓会報発行
8月31日(土)～ 9月1日(日)	二 高 祭
9月中旬	同窓会総会・懇親会当番幹事引継ぎ会 (ホテルサンルート一関) 平成25年度当番幹事 昭和51年・61年3月卒業生 平成26年度当番幹事 昭和52年・62年3月卒業生
10月 5日(土)	同窓会関東支部総会・懇親会 (大手町サンケイプラザ)
10月18日(金)	同窓会仙台支部総会・懇親会 (ホテルモントレ仙台)
10月19日(土)	同窓会盛岡支部総会・懇親会 (エスポワールいわて)

平成26年

2月上旬	同窓会常任理事会(本校)
28日(金)	同窓会表彰・入会式
3月 1日(土)	卒業式

平成26年度

総会・懇親会のご案内(予定)

日 時 平成26年6月28日(土)(予定)

午後2時～

場 所 ホテルサンルート一関

当番幹事 S52年3月卒 S62年3月卒

編集後記

東日本大震災から2年半、岩手・宮城内陸地震から5年の歳月が経過いたしました。

大震災からの復興はまだ道半ばで、ヤキモキするばかりです。被災した在校生も居り、当然同窓会会費は免除しております。

さて、今年の同窓会総会も活発な意見が交わされました。そのうち、部活動助成金の補助枠拡大について討議され、今後の見通しに少し不確定なところはあるものの、同窓会は生徒たちの頑張りに応えるということで、力強く了承されました。

と言う訳で、今年の会報の扉は、国際大会出場の経歴をもつフェンシング部の佐藤葵さん(在校時は主将)に飾って頂きました。

また、今年度は同窓会名簿を更新いたします。多くの卒業生の皆様に同窓会報が届けられますようご協力をお願いいたします。(公)

情報受付のお願い

編集委員会では、卒業生の活躍する姿をホームページなどでご紹介します。

情報をお持ちの同窓会会員の方は下記にお寄せ下さい。

E-mailアドレス info@sekinidosokai.com

ホームページ <http://sekinidosokai.com/>

TEL 0191-25-2242

FAX 0191-25-5432

編集委員

編集委員長 佐藤 公基

副編集委員長 須藤 光子

編集委員 木村 東和夫

// 菅原 隆

// 槻山 隆幸

// 佐藤 瞳

// 吉田 一博